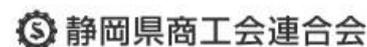


News Release



県下商工会と一体となり
小規模企業の支援を行っています

【令和 3 年 6 月期 小規模企業景気動向調査報告書】

本会では、県下商工会地区内小規模企業の景気を把握するため、商工会の経営指導員に協力依頼し、小規模企業景気動向調査を毎月実施しています。

このたび令和 3 年 6 月期の調査結果がまとまりましたので報告します。

1 調査概要

- (1) 調査時点 令和 3 年 6 月 30 日
- (2) 調査対象 県下 35 商工会（うち 34 商工会より回答）【回収率 97.1%】
- (3) 調査対象業種 製造業（食料品・繊維工業・機械金属）、建設業、小売業（衣料品・食料品・耐久消費財）、サービス業（旅館・洗濯・理美容）の 10 業種
- (4) 調査方法 商工会の経営指導員に対するアンケート方式
- (5) 集計方法 質問項目（業況、売上、仕入単価、採算、資金繰り）の「好転・増加・上昇」とする数値からそれぞれ「悪化・減少・低下」とする数値を引いた値

2 概要（トピックス）

【全体の業況 DI が4期ぶりに悪化、ウッドショックや半導体不足の影響により業況が安定せず、先行きが不透明である】

産業全体の業況 DI（景気動向指数・前年同月比）は-25.5（前月-21.1、前年同月-57.3）で、前月比-4.4pt 悪化した。今期は全ての業種で業況 DI が悪化しており、特に建設業はウッドショックによる木材価格の高騰・不足等の影響で、受注や着工、価格転嫁ができず、資金繰り悪化等の厳しい業況が続いている。

【製造業】

業況は-11.7（前月-9.8、前年同月-45.1）と前月に比べ-1.9pt 悪化した。自動車等の機器輸送関連業では、半導体不足の影響があり減産、それに伴い従業員の休業実施が続く厳しい状況である。

【建設業】

業況は-35.3（前月-20.6、前年同月-58.8）と前月に比べ-14.7pt 悪化した。ウッドショックの影響が長期化しており、資材や住宅価格が高騰し先行きが不透明である。また既に契約に至った住宅工事等の価格転嫁ができず、採算が悪化しているケースもある。

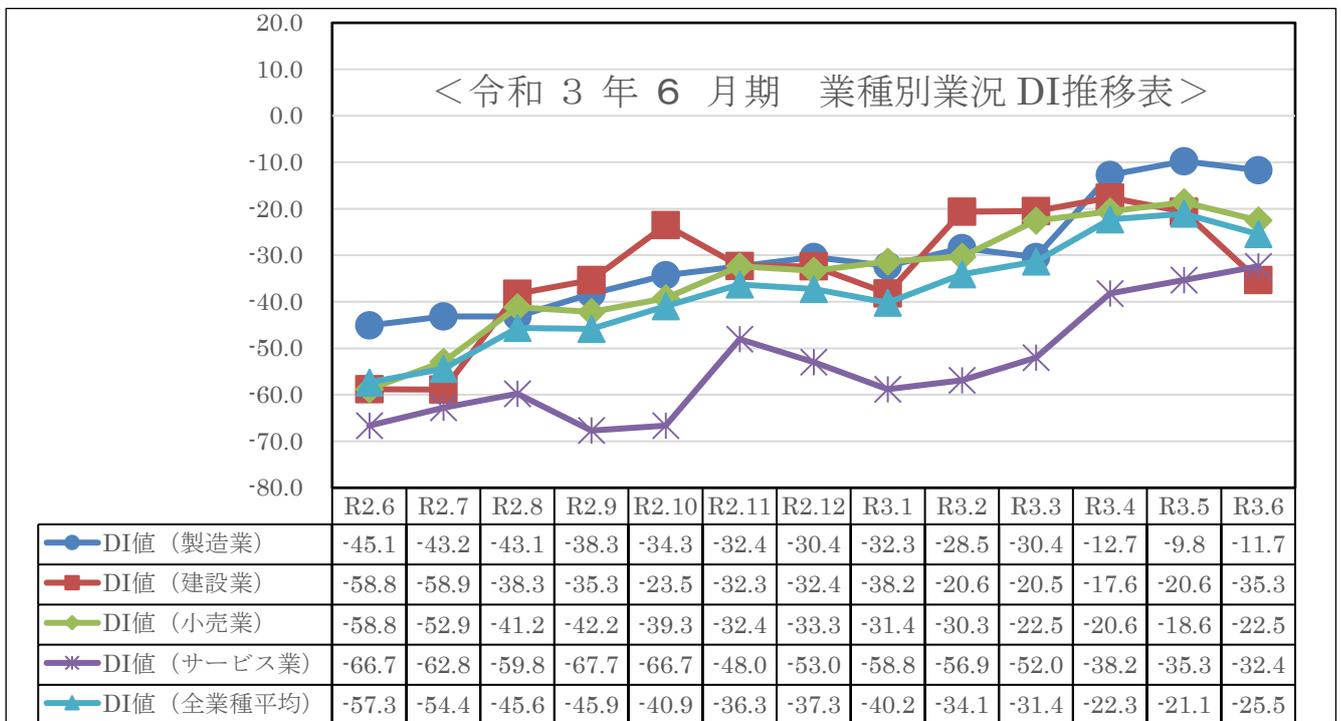
【小売業】

業況は-22.5（前月-18.6、前年同月-58.8）と前月に比べ-3.9pt 悪化した。食料品や耐久消費財小売業は前月比ほぼ横ばいであるが、衣料品小売業は消費低迷が続いており厳しい業況である。

【サービス業】

業況は-32.4（前月-35.3、前年同月-66.7）と前月に比べ-2.9pt 悪化した。宿泊関連業においては、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置による外出自粛の影響で、依然として厳しい業況が続いている。また一時・月次支援金に関する相談が最も多い業種ではあるが、コロナ感染対策の徹底や、新たな事業展開により経営改善を図っている事業者も多い。

3 本調査に関する問合せ 静岡県商工会連合会 産業振興課 TEL054-255-9811〔担当：増田・中村〕



＜経営指導員コメント抜粋＞

【製造業】(食品製造業・繊維工業・機械金属業)

- ・食品製造業は生活に直結する業種であるため、コロナ禍の影響が少ない。(伊豆)
- ・機械関連の受注は徐々に回復しているが、コロナ禍前の水準には戻っていない。(富士駿東)
- ・市内の自動車製造メーカーでは、半導体不足の影響があり、従業員の休業を実施している状況が続いている。(中部)
- ・繊維工業関連は、海外との取引が徐々に回復し、受注が動き始めている。(中東遠)
- ・輸送機器関連は、半導体不足が改善せず、引き続き減産となっている。(西遠)

【建設業】

- ・ウッドショックにより業況の悪化が深刻化し、需要があっても受注できず、資金繰りが厳しくなっている。(伊豆)
- ・資材の高騰や不足の影響が出てきており、特に輸入材は入手困難である。(富士駿東)
- ・一般住宅用の木材が不足し、住宅価格が高騰し始めている。(中部)
- ・大規模現場は動いているが、木造建築等の小規模な現場は仕事も薄く、先行きが不透明である。(中東遠)
- ・ウッドショックが続いており、資材や住宅価格が高騰し、既に契約に至った住宅工事等については事業者負担で対応する等、採算が悪化している。(西遠)

【小売業】(衣料品小売業・食品小売業・耐久消費財小売業)

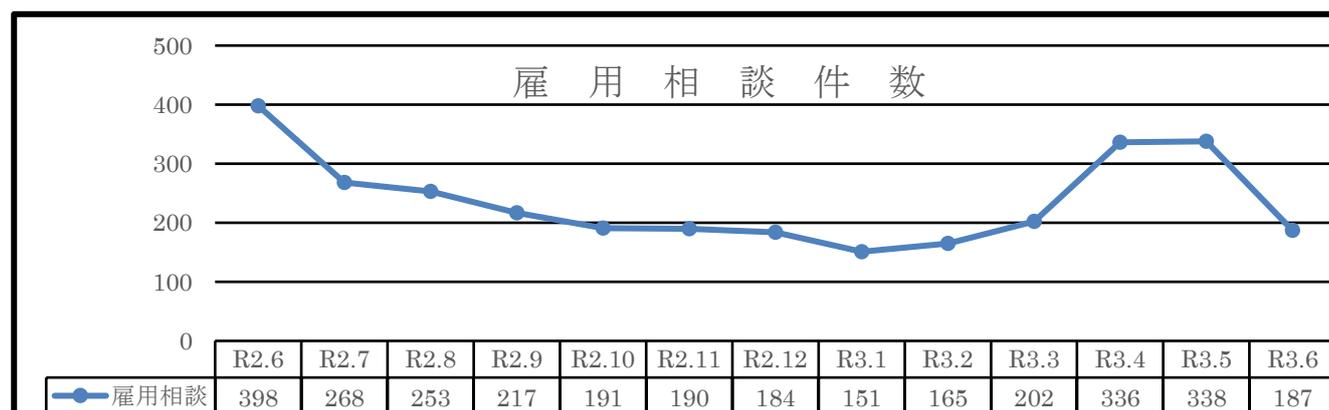
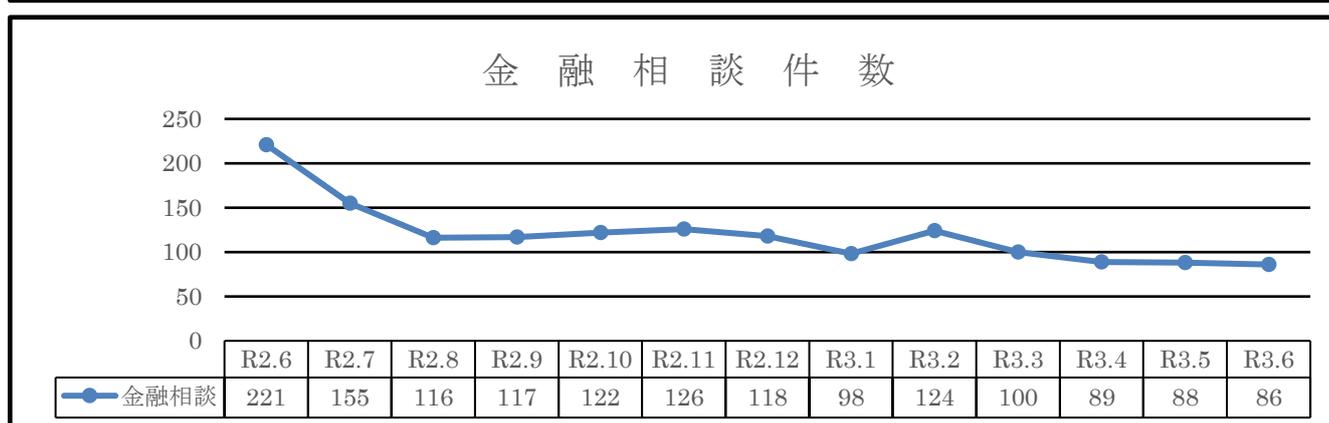
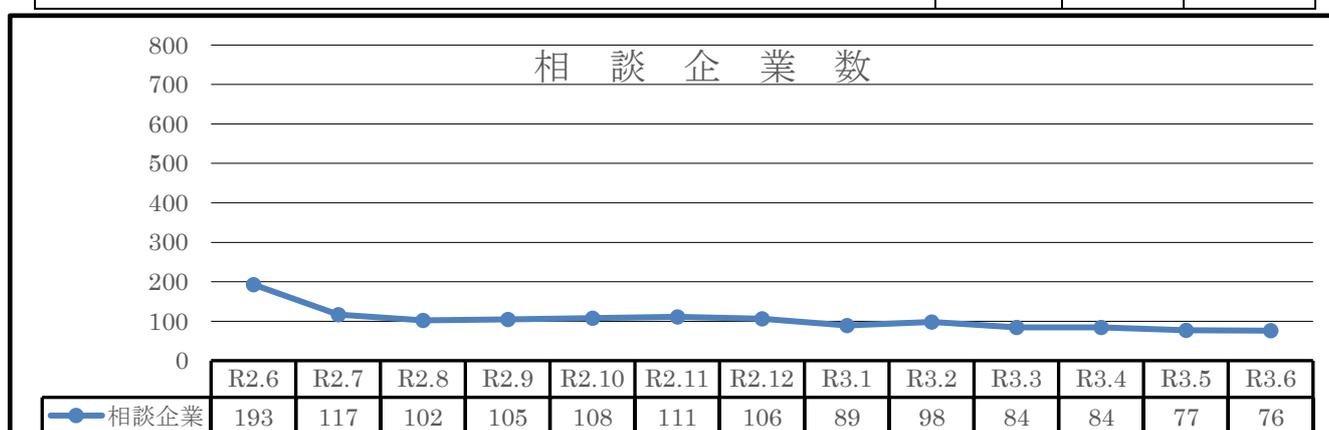
- ・外出自粛の影響により、惣菜等の食品小売業は売上が順調に伸びている。(伊豆)
- ・食品の実店舗販売は減少しているが、インターネット販売は増加傾向にある。(富士駿東)
- ・食品販売が好調である一方で、衣料品販売は悪化している。(中部)
- ・事業所からエアコンを空気清浄機能付きに交換する等の注文が多かった。(中東遠)
- ・エアコンの需要がピークであるが、半導体不足の影響で品薄状態である。(西遠)

【サービス業】(旅館業・洗濯業・理美容業)

- ・洗濯関連は梅雨時期を迎えて個人消費の利用が戻りつつあるが、旅館や民宿からのシーツ等の洗濯需要が殆どなく、売上が減少している。(伊豆)
- ・一時支援金や月次支援金の相談、申請支援の対応が最も多い業種である。(富士駿東)
- ・宿泊業の事業者において、テイクアウト弁当等の販売や配達を続けているが、依然として厳しい業況が続いている。(中部)
- ・コロナ感染対策や事業の見直し等を講じている事業者は、厳しい業況の中でも少しずつ売上を伸ばしている。(中東遠)
- ・小規模な旅館や民宿は予約が埋まらず、厳しい状況である。(西遠)

金融・雇用相談実績月次報告(令和3年6月期)

内容別内訳 (※1件の相談で複数の対応をした場合はそれぞれにカウント)	今月	前月	前月比
【相談企業数】	76	77	-1
【金融相談件数】	86	88	-2
新規融資(借換えを除く)	58	53	5
既存債務の借換え	24	29	-5
借入れ条件変更	1	0	1
消費者金融・商工ローン関連	0	0	0
貸し渋り・貸し剥がし	0	0	0
その他	3	6	-3
【雇用相談件数】	187	338	-151



【金融相談】

金融相談件数は、86件と前月(88件)に比べ2件減少した。全体の相談件数は減少傾向にあるが、前回に続き前向きな設備資金等の新規融資相談はやや増加、一方で元金の返済開始により懸念されていた既往債務の借換相談はやや減少している。

<経営指導員コメント>

- ・売上が低迷している事業者が多いが、融資相談は前年同月比大幅に減少した。(伊豆)
- ・土地の購入や機器等導入に伴う前向きな設備資金の相談があった。(富士駿東)
- ・民間金融機関の無利子融資が終了しているため、コロナマル経の相談が増加した。(中部)
- ・資材仕入や諸経費の支払資金等、当面の運転資金を確保することで資金繰り改善を図る相談があった。(中東遠)
- ・全体としては企業からの資金需要は落ち着いているが、飲食店や旅館業では売上が確保できずに現預金が減少し、今後の経営を危惧している。(西遠)

【雇用相談】

雇用相談件数は、187件と前月(338件)に比べ151件減少した。前月で労働保険の年度更新に係る手続き相談が完了した事業者が多く、相談件数が大幅に減少した。また雇用調整助成金の特例措置の再延長により期間が7月末まで延長され、窓口相談や専門家派遣事業等により対応をしている状況である。

<経営指導員コメント>

- ・雇用調整助成金の特例措置(再延長)に関する相談が多い。(富士駿東)
- ・従業員の入退社に伴う雇用保険の資格取得・喪失の相談が多い。(中部)
- ・従雇用調整助成金の申請に係る相談があった。(中東遠)
- ・同一労働同一賃金制度の適用による就業規則の整備について相談があった。(西遠)

【その他商工会管内に関するコメント】

- ・6/9(水)に河津町商工会プレミアム工事券(15%プレミアム 発行総額3,000万円)を発売し、今後本工事券における経済効果が期待される。(河津町)
- ・6/11(金)に河津町おもてなし工事補助事業の募集を開始した。コロナ感染対策に関する取組を含め、多くの利用を見込んでいる。(河津町)
- ・通常通り、海水浴場は7月にオープンし、8月には弓ヶ浜花火大会を開催予定である。(南伊豆町)
- ・6/19(土)にゆうすい商店会では、コロナ対策を徹底して「第5回ホテルまつり in 清水町」を開催し、物販・飲食12店舗の出店があった。(清水町)
- ・ふくろい応援商品券(20%プレミアム)の引換販売を商工会で7/9(金)まで実施中。商工会では換金や登録店の販売強化・PR支援を実施している。(浅羽町)
- ・サマーフェスタについて、規模を縮小し7/18(日)~8/31(火)の土日で開催予定。(浜名)
- ・7/1(木)より、会員企業にリフォームや下水工事、車両・船舶・家電等の修理を依頼すると、費用に応じて地域振興券を施主に贈答する事業「buy 新居」を、コロナ禍の地域活性化策として4年ぶりに実施することを決定した。(新居町)